



Cisco IP 会議用電話ハードウェア

- [このドキュメントでサポートされる電話機 \(1 ページ\)](#)
- [その Cisco IP Conference Phone 7832 \(2 ページ\)](#)
- [Cisco IP 電話 7832 のボタンおよびハードウェア \(3 ページ\)](#)
- [関連資料 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco IP 会議用電話 8832 \(4 ページ\)](#)
- [Cisco IP 会議用電話 8832 のボタンとハードウェア \(6 ページ\)](#)
- [Cisco IP 会議用電話 8832 のマニュアル \(10 ページ\)](#)
- [用語の違い \(10 ページ\)](#)

このドキュメントでサポートされる電話機

このドキュメントでは、次の電話機をサポートしています。

- Cisco IP 会議用電話 7832 マルチプラットフォーム フォン
- Cisco IP 会議用電話 8832 マルチプラットフォーム フォン

このドキュメントでは、電話機またはCisco IP 電話という用語は上記の電話機を指します。

その Cisco IP Conference Phone 7832



電話機は 360 度の無指向性高感度マイクを備えています。最大で 2.1 m (7 フィート) 離れた場所からでも、相手にはっきりと聞こえます。また、携帯電話やその他のワイヤレス デバイスからの干渉に抵抗する技術が採用されており、妨害のないクリアな通信の提供を保証します。

他のデバイスと同様に、Cisco IP 電話は設定し、管理する必要があります。これらの電話機は、次のコーデックのエンコードとデコードを行います。

- G.711 a-law
- G.711 mu-law
- G.722
- G722.2 AMR-WB
- G.729a/G.729ab
- G.726
- iLBC
- Opus
- iSAC



注意 セル方式の電話、携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを Cisco IP 電話のすぐ近くで使用すると、相互干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生するデバイスの製造元のマニュアルを参照してください。

Cisco IP 電話は、通話転送や転送、リダイヤル、短縮ダイヤル、会議コール、ボイスメッセージング システムへのアクセスなど、従来のテレフォニー機能を提供します。Cisco IP 電話では、さらにその他の各種の機能も提供します。

さらに、Cisco IP 電話はネットワーク デバイスであるため、詳細なステータス情報を電話機から直接取得することができます。この情報は、ユーザが IP 電話を使用しているときに生じた問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。また、アクティブ コールに関する統計情報や、ファームウェアのバージョンも電話機で取得できます。



Cisco IP 電話 7832 のボタンおよびハードウェア



次の図は Cisco IP 会議用電話 7832 です。

図 1: Cisco IP 会議用電話 7832 の各ボタンと機能



次の表に、Cisco IP 会議用電話 7832の各ボタンを示します。

1	ミュートバー	 マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクroフォンをミュートにすると、LEDバーが赤く点灯します。
2	LED バー	コール状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブ コール • 緑（点滅）：着信コール • 緑（速い点滅）：保留中のコール • 赤、点灯：ミュート中のコール
3	ソフトキー ボタン	 機能とサービスにアクセスします。

4	ナビゲーションバーと [選択 (Select)] ボタン	 <p>メニューをスクロールして項目を強調表示し、強調表示された項目を選択できます。</p> <p>アイドル状態の電話機で、[上 (Up)]を押すと最近の通話リストにアクセスでき、[下 (Down)]を押すとお気に入りリストにアクセスできます。</p>
5	音量 ボタン	 <p>スピーカーフォンの音量 (オフフック) と着信音の音量 (オンフック) を調整します。</p> <p>音量を変更するとLEDバーが白く点灯し、音量の変化を表示します。</p>

会議電話のソフトキー (7832)

ソフトキーを使用して電話機の機能を操作できます。ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。

- ソフトキーは、使用可能なソフトキー機能が多いことを示します。

関連資料

関連情報を入手するには、以下のセクションを参照してください。

Cisco IP 会議用電話 7832 のマニュアル

お使いの言語、電話機モデル、およびコール制御システムに固有のマニュアルは、Cisco IP Phone 7800 Series の[製品サポート](#)ページで確認してください。

Cisco IP 会議用電話 8832

Cisco IP 会議用電話 8832 は、ユーザ中心の通信を強化します。中規模から大規模の会議室や役員室で 360 度の範囲をカバーする高解像度 (HD) のオーディオ性能を実現します。また、全二重の双方向ワイドバンド (G.722) オーディオハンズフリースピーカーにより、高品質のサウンドを実現しています。この電話機では、シンプルなソリューションを提供することで、大部分の会議室が抱える課題に答えます。

図 2: Cisco IP 会議用電話 8832 マルチプラットフォーム ファームウェア



会議電話機は、360 度のカバレッジを実現する感度の良いマイクを備えています。このカバレッジにより、普通の声で話しても、最大3メートル離れた場所から相手にはっきりと聞こえます。また、電話機やその他のワイヤレス デバイスからの干渉に抵抗する技術が採用されており、妨害のないクリアな通信を確実に実現します。電話機はカラー画面と、さまざまなユーザ機能进行操作するためのソフトキー ボタンを備えています。ベースユニットのみの場合、会議電話は、6.1 x 6.1 m の部屋で 10 人までのカバレッジを実現できます。

2つの有線拡張マイクを使用できます。拡張マイクをベースユニットから離れた場所に設置することで、より大きな会議室に対応できるカバレッジを実現できます。ベースユニットと有線拡張マイクを使用した場合、会議電話は、6.1 x 10 m の部屋で 22 人までのカバレッジを実現できます。

電話機は、オプションのワイヤレス拡張マイク2個のセットもサポートしています。ベースユニットとワイヤレス拡張マイクを使用した場合、会議電話は、6.1 x 12.2 m の部屋で 26 人までのカバレッジを実現できます。6.1 x 12.2 m の部屋をカバーするには、各マイクをベースから最大 3 m の距離に配置することを推奨します。

他のデバイスと同様に、Cisco IP 電話 は設定し、管理する必要があります。これらの電話機は、次のコーデックのエンコードとデコードを行います。

- G.711 a-law
- G.711 mu-law
- G.722
- G722.2 AMR-WB
- G729a
- iLBC
- Opus



- (注) セル方式の電話、携帯電話、GSM 電話、または双方向ラジオを Cisco IP 電話のすぐ近くで使用すると、相互干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生するデバイスの製造元のマニュアルを参照してください。

Cisco IP 電話は、通話転送や転送、リダイヤル、短縮ダイヤル、会議コール、ボイスメッセージングシステムへのアクセスなど、従来のテレフォニー機能を提供します。Cisco IP 電話では、さらにその他の各種の機能も提供します。

Cisco IP 電話は、他のネットワーク デバイスと同様に、サードパーティ サーバおよび IP ネットワークの他の部分にアクセスできるように設定する必要があります。DHCPを使用すると、電話機上で設定する内容が少なくなります。ただし、お使いのネットワークで必要な場合は、IP アドレス、TFTP サーバ、サブネット情報などの情報を手動で設定できます。

Cisco IP 電話は、IP ネットワーク上の他のサービスやデバイスと連携することで、高度な機能を提供できます。たとえば、サードパーティ サーバを社内の Lightweight Directory Access Protocol 3 (LDAP3) 標準ディレクトリと統合すると、ユーザが同僚の連絡先情報を IP 電話で直接検索できるようになります。

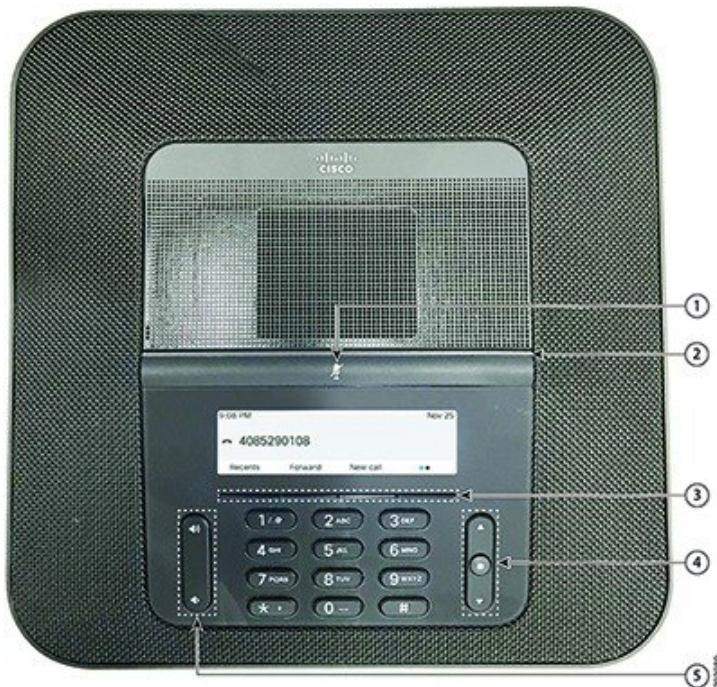
さらに、Cisco IP 電話はネットワーク デバイスであるため、詳細なステータス情報を電話機から直接取得することができます。この情報は、ユーザが IP 電話を使用しているときに生じた問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。また、アクティブ コールに関する統計情報や、ファームウェアのバージョンも電話機で取得できます。




Cisco IP 電話を IP テレフォニー ネットワークで機能させるには、IP 電話を Cisco Catalyst スイッチなどのネットワーク デバイスに接続する必要があります。また、コールを送受信する前に、Cisco IP 電話をサードパーティ サーバに登録する必要があります。


Cisco IP 会議用電話 8832 のボタンとハードウェア

次の図は Cisco IP 会議用電話 8832 です。

図 3: Cisco IP 会議用電話 8832 の各ボタンと機能



1	ミュートバー	 マイクフォンのオン/オフを切り替えます。マイクフォンをミュートにすると、LEDバーが赤く点灯します。
2	LED バー	コール状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 緑、点灯：アクティブ コール • 緑（点滅）：着信コール • 緑（速い点滅）：保留中のコール • 赤、点灯：ミュート中のコール
3	ソフトキー ボタン	 機能とサービスにアクセスします。
4	ナビゲーションバーと [選択 (Select)] ボタン	 メニューをスクロールして項目を強調表示し、強調表示された項目を選択できます。 <p>アイドル状態の電話機で、[上 (Up)] を押すと最近の通話リストにアクセスでき、[下 (Down)] を押すとお気に入りリストにアクセスできます。</p>

5	音量 ボタン	 <p>スピーカーフォンの音量（オフフック）と着信音の音量（オンフック）を調整します。</p> <p>音量を変更するとLEDバーが白く点灯し、音量の変化を表示します。</p>
---	--------	--



(注) マルチプラットフォーム ファームウェアを実行中の Cisco 8832 Conference Phone は、Wi-Fi をサポートしていません。これらの電話は、物理イーサネット接続で使用してください。

会議電話のソフトキー (8832)

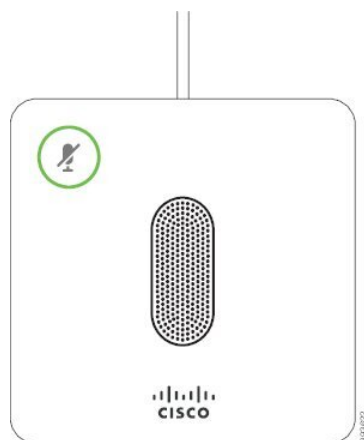
ソフトキーを使用して電話機の機能を操作できます。ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。


●●と●●のソフトキーは、より多くのソフトキー機能が利用可能であることを示します。

有線拡張マイク (8832 のみ)

Cisco IP Conference Phone 8832 は、オプションキットで用意されている有線拡張マイク 2 個をサポートします。大きな会議室または混雑している会議室で、拡張マイクを使用します。最適な効果を得るために、携帯電話から3フィート (0.91メートル) から7フィート (2.1メートル) の間にマイクを置くことをお勧めします。

図 4: 有線拡張マイク



通話時は、[ミュート (Mute)]  ボタンの周りの拡張マイク LED が緑色に点灯します。

マイク音声ミュートになっているとき、LED バーは赤色です。[ミュート (Mute)] ボタンを押すと、電話機と拡張マイクはミュートされます。

ワイヤレス拡張マイク (8832 のみ)

Cisco IP Conference Phone 8832 は、オプションキットで充電クレードルと一緒に用意されている2つの拡張ワイヤレスマイクをサポートしています。ワイヤレスマイクを充電クレードルの上に配置して充電すると、クレードルのLEDが白く点灯します。

図 5: ワイヤレスマイク

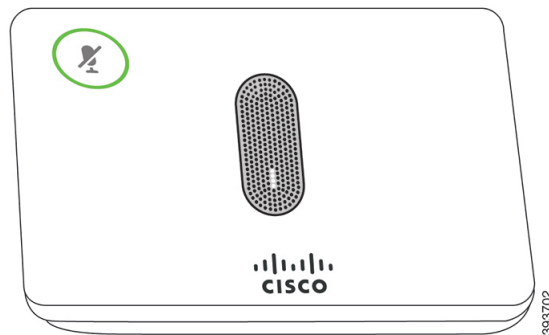
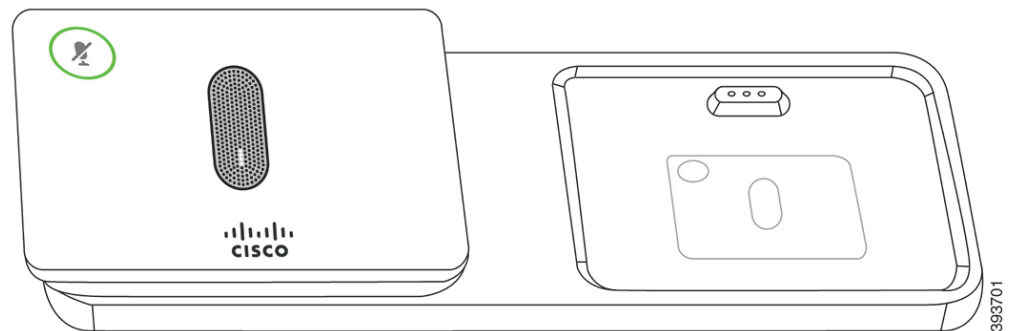


図 6: 充電クレードルに載せたワイヤレスマイク



会議電話での通話時は、[ミュート (Mute)]  ボタンの周りの拡張マイク LED が緑色に点灯します。

マイクをミュートにすると、LED が赤く点灯します。[ミュート (Mute)] ボタンを押すと、電話機と拡張マイクはミュートされます。

電話機がワイヤレスマイク (たとえばワイヤレスマイク 1) とペアリングされていて、充電器にワイヤレスマイクを接続している場合、[詳細表示 (Show detail)] ソフトキーを押すとマイクの充電レベルが表示されます。

電話機がワイヤレスマイクとペアリングされている時に有線マイクを接続すると、ワイヤレスマイクのペアリングが解除され、電話機は有線マイクとペアリングされます。有線マイクが接続されたことを示す通知が電話機の画面上に表示されます。

Cisco IP 会議用電話 8832 のマニュアル

お使いの言語、およびコール制御システムに関する参照物を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/collaboration-endpoints/ip-phone-8800-series-multiplatform-firmware/tsd-products-support-series-home.html>

用語の違い

このドキュメントの用語 Cisco IP 電話には、Cisco IP 会議用電話 8832 マルチプラットフォームフォンが含まれています。

次の表では、『Cisco IP 会議用電話 8832 マルチプラットフォームフォン ユーザガイド』、『Cisco IP 会議用電話 8832 マルチプラットフォームフォン アドミニストレーションガイド』の Cisco IP 会議の用語の違いの一部を強調表示しています。

表 1: 用語の違い

ユーザガイド	アドミニストレーションガイド
メッセージインジケータ	メッセージ受信インジケータ (MWI)
ボイスメールシステム	ボイスメッセージシステム

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。